

## 令和5年度第3回 那珂市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和5年12月13日(水)午後1時55分から午後3時00分まで

2 場 所 那珂市役所本庁舎4階 庁議室

3 出席者

### (1) 委員

清水悦子委員、小笠原聖華委員、関登委員、勝山元子委員、増子健一委員、永井裕美委員、笹嶋恵津子委員、飯島ヒカリ委員、大足かおり委員、伊藤佳樹委員、黒澤千恵委員、平野由紀子委員、平野道代委員、生田目奈若子委員、小橋聡子委員

### (2) 事務局

こども課 課長 萩野谷真、課長補佐(総括) 水野厚子、  
課長補佐 子育て支援グループ長 古谷武、  
課長補佐 保育グループ長 寺門賢一、  
主幹 野上涼、主幹 小泉真由  
株式会社ぎょうせい社員2名

4 欠席者

5 会議内容

### (1) 開会

#### ○水野課長補佐(総括)

定刻より早いですが、皆さまお揃いになりましたので、ただいまから那珂市子ども・子育て会議を開催したいと思います。

なお、前回と同様この会議の会議録等につきましては公表させていただきます。また、質疑等につきましては、委員の皆さまの前にマイクがございますので、発言の際にはボタンを押してから発言いただき、発言が終わりましたら再度ボタンを押していただきますようよろしくお願いいたします。

本日は、全員出席となっております。

なお、出席者が半数以上でありますので、那珂市子ども・子育て会議条例第6条の規定により、会議は成立しております。

また、協議案件に関する業務を請け負っている、株式会社ぎょうせいの社員の方、小野寺様と伊藤様、2名が助言者として同席しております。

### (2) 会長あいさつ

#### ○水野課長補佐(総括)

続きまして次第2の那珂市子ども・子育て会議の清水会長よりご挨拶をお願いいたします。

#### ○清水会長

(会長あいさつ)

#### ○水野課長補佐(総括)

ありがとうございました。

協議事項に入る前に、本日配付しました資料の確認をお願いいたします。  
(資料の確認)  
それではお揃いのようなので進めさせていただきます。

### (3) 協議事項

#### ○水野課長補佐（総括）

それでは次第3の協議事項に入ります。ここからの議事につきましては、那珂市子ども・子育て会議条例第6条の規定により、清水会長をお願いいたします。

#### ○清水議長

それでは、議長を務めさせていただきます。進行が円滑に進みますようご協力のほどよろしくをお願いいたします。

では、協議事項に入らせていただきます。（1）第3期那珂市子ども・子育て支援事業計画策定に関わるニーズ調査について事務局より説明をお願いいたします。

#### ○小泉主幹

（資料1の説明）

#### ○清水議長

それでは、質疑に入りたいと思います。ご質問があるかたいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。皆さまいかがでしょうか。

#### ○勝山委員

大きな問題ではないですが、小学生の親を対象にしたアンケートの問10に、気軽に相談できる先はどこですかということで12項目ありますが、その中にこども課ではないと思いますが、教育委員会の教育支援センターが一般の教育相談を受け付けていて、不登校児童だけでなく、保護者の教育相談も受けていますので、ここに項目立てしてはと思います。

その他のところに書けば問題ないことですが、就学前児童のほうの問21に教育支援センターの教育相談という項目が書いてありましたので、ここに入れるとPRにもなりいいかなと思いました。以上です。

#### ○清水議長

ありがとうございます。

事務局いかがでしょうか。

#### ○小泉主幹

追加したいと思います。

#### ○清水議長

他にご意見や、ご指摘等ありますか。

小笠原委員お願いいたします。

#### ○小笠原委員

教えていただきたいことがありまして、今那珂市内で、一般的に無園児と呼ばれるような、就学前に一定の施設、幼児教育保育施設に通っていない子

というのは、直近のデータで構わないですけどどれくらいいるのかということと、他市町村の認可施設など、利用しているかたがどれくらいいるのかなというのを伺いたいということが一つです。

それからもう一つ、小学生児童を対象にしたアンケートの中の問25の中で、強く期待する国や自治体の政策について挙げてくださいますというところで、もし間に合えばですが、ちょうど今、大学の第3子以降を無償化するという話が出ていますので、この問いは、比較的小子様がそれほど大きくない、ということについてのお話なのかと思いますが、やはりその経済的な問題というのは、保護者が第3子、第4子となったときにかなり大きな問題になるのかなと思いますので、経済的な支援が要りますか、あとはその経済的な支援があることで、もう1人お子さんを産み育てようというときに、何か期待するものとして、保護者にあるのかどうかというのを聞きたいなというところがあります。そのような内容も入れていただいてもいいのかなと思います。以上です。

○清水議長

ありがとうございます。

まず1点目、無園児というのは4、5歳児になっても、どこにも属していないという理解でいいですか。そちらの那珂市内の人数、また、他市町村の園を利用している園児の人数はどのくらいになるかということですが、いかがでしょうか。

○野上主幹

毎年、こども課の家庭児童相談室のほうで、県に報告しているものがございいます。直近のデータですと昨年度のデータになりますが、報告した未就園児の件数に関しては0人で報告させていただいております。

○清水議長

ありがとうございます。

他市に通っている園児数というのは把握していますか。

○寺門課長補佐

現時点では、他市町村の広域入所は100名程度となっております。

○清水議長

あと1点、小笠原委員から大学無償化についての意見を問25に入れるといいのではないかということですが、そちらのほうはいかがでしょう。

○古谷課長補佐

新聞報道等でそういうことが起こるかもしれないというのはありますが、確定的なものではないので、なかなか大学無償化という文言まで入れるのは現時点では、難しいかなとは思いますが、それに似た経済的な支援を追加して入れることは可能となりますので、そこは検討させていただきたいと思っております。

○小笠原委員

他市町村の無認可施設を利用している子、広域というのは認可施設だと思

うので、そこはいかがでしょうか。

○寺門課長補佐

基本的に他市町村で無認可保育に入所しているかたの人数は把握しておりません。無償化対象の申請をしているかたは把握していますが、その人数が何人いるかは確認しないとお答えできないです。

○小笠原委員

ニーズ調査をするに当たり、どうしたら那珂市の環境をよりよく思ってもらえるかというところに、やはり無認可のニーズというのは、特に他市町村へのニーズというのは、結構関わってくるのかなと思ったものですから、それが聞きたいと思います。

ただ、前回のニーズ調査に比べて、例えばスタートの時点で、問3できょうだいは何人いらっしゃいますかというのが任意でつけ加えられていますけれども、今までだとやはりそのニーズ調査とそれから実態、実際に行政が動く、その乖離というのはものすごく今までのニーズ調査でも問題になってきたところを、やはりその設問を加えることで、その乖離を少しずつ減らそうとしているのだなという、行政側の努力を感じます。

ほかの設問については特に意見はありません。

○清水議長

ありがとうございます。

他の委員の皆さまいかがでしょうか。増子委員お願いいたします。

○増子委員

理想とする子どもの人数という言葉が何か所か出てきております。この理想とする基準は、何かありますか。

○清水議長

理想とする子どもの人数という言葉がありますが、この定義ということですか。

理想とする子どもの人数というのは家庭の中で、どの程度の人数子どもが欲しいと思いますかという聞き方だと思いますが、そのような理解で大丈夫でしょうか。

○野上主幹

一旦、経済的な部分や家庭状況などは置いておいて、実際に夫婦間、もしくは家族間で欲しいと想定している人数を答えていただく設問になります。

○清水議長

ありがとうございます。

それぞれの家庭の家族計画の中で、何人くらい欲しいかという質問ということですね。

○野上主幹

実際にこちらの設問については、国のひな形で既にこういう形で示されているので、ここの部分の質問の書き方というのはこちらから変えることが出来ないのです、例えば米印などで、注釈ではないですけれども、わかりやすい

ように、補足説明を付け足すことができるかと思しますので、検討させていただきます。

○増子委員

国からの方針とか、何かそういうデータがあるのかなど。これだけ子どもがいれば、日本の経済は安定していくとか、何かそういう客観的なものがあるのかと感じました。

○清水議長

ありがとうございます。

質問の意図としては、国のほうで理想は何人以上子どもを持つことなのか、各家庭というよりは国として、理想の子どもの人数をどう考えているのかを伺いたいということですかね。

事務局のほういかがでしょうか。

○古谷課長補佐

国のほうで1家庭に何人くらい子どもがいたほうが良いという理想的な数字というのは特に示されておられません。ただ新聞報道でもありますように、児童手当など今後拡充されていくといった内容の報道を新聞記事などで見られたかと思えます。その中でも1家庭において、3人以上いるところは手厚く手当等が支給されているような傾向にはございます。

○清水議長

はい、ありがとうございます。

私のほうから1点、就学前児童の2ページの間8—1の選択肢ですけれども、理想の人数に向けてこれから産む予定だということかもあるのではないかと思いました。選択肢がネガティブな項目なので、これから産む予定ですよというのがあってもいいのかなと思いました。ご検討いただけますでしょうか。

○小泉主幹

これからのかたに対しての選択肢を加えるよう検討していきたいと思えます。

○清水議長

ありがとうございます。

それでは平野委員お願いいたします。

○平野（由）委員

同じページのところで今話を聞きながら、私もお聞きしたいことがあります。理想的な子どもの数を聞いた後に、理想的な子どもの人数よりも実際育てている子どもの人数が少ないかたにお聞きしますということで、少子化対策の視点での質問というものもあると思えますが、逆に、家族計画の中で例えば子どもが2人欲しいという、夫婦の同意があったとしても、例えばそこに3人とか4人とか、予想していなかった数、多児のほうで子どもが多く生まれてきている家族も、私の周りではすごく多く見られていて、子どもが多いからといって、全部がやはり幸せなことばかりではなく、毎

日常生活するところにすごく大変さを抱えている方々も多いのが現状だと思います。

その中で助成金というか、手厚いサポートというのは先ほどおっしゃったように、その保護者の方々が申請すれば、手厚いサポートに行き着くかたもありますが、中には毎日の生活に必死で、貧困まで言うと言葉がきついですが、苦勞しながら生活している家庭、家族もいるということで、設問の中に、実際育てる子どもの人数が少ないかたということがあるのでしたら、実際よりも多いかた、そういったところでもこの子育て支援事業の中ではすごく重要な視点だと思うので、その理想とは少なくとも多くても、自分たちの理想と少しずれている方々へ聞く質問であれば、逆に人数が多い方々に必要なサポートは何ですかとか、そういった視点があると、やはり保護者の方々も自分の生活に落とし込んで、質問に答えていける可能性や、答えが広がっていくと思います。

○清水議長

ありがとうございます。

事務局のほうでいかがでしょうか。

○野上主幹

理想の人数よりも実際に育てている子どもの人数が少ないかたのみの設問になっているので、少子化対策の観点はもちろんありますが、子育て支援の部分でいえば、当然理想の数よりも多いご家庭もあるというところなので、そこら辺がどう計画に反映できるかは現時点でお答えは出来ないですけども、その把握というのも、今後の施策に何かしら生きてくるのかなというところで、その設問については8—2という形で、追加できるように調整させていただきたいと思います。

○清水議長

ありがとうございます。

ほかの委員のかたでご意見ありますでしょうか。

伊藤委員お願いいたします。

○伊藤委員

細かい話になりますが、小学生児童のほうの資料の8ページの問25で、ナンバー8、女性が子育てをしながら働けるよう支援することとありますが、女性に限らず男性も子育てをしながら働けるようというところも必要かなと思いますので、そこを考慮いただければと思いました。

○清水議長

ありがとうございます。

シングルの男性もいると思いますので、男性が働きやすいという選択肢もいかがでしょうか。

○野上主幹

ご意見ありがとうございます。ここの部分につきましてはあえて女性が、男性がと分ける必要はないのかなというところで、例えばここを保護者が、

家族が、親族がなどといった形で、お父さんお母さんだけではないご家庭もあるかと思しますので、文言については検討させていただいて修正できればと思います。

○古谷課長補佐

追加で説明させていただきます。

ここの場面で女性がと限定させていただいている理由としましては、平成28年の第1期のときに、子育て安心プランというのが発表されまして、その中で女性の就業率の向上というところが示されていました。

それが絡んでいてここで女性がという聞き方をして、それが第1期、第2期のときもそれを踏襲し、今回の第3期にも移ったと考えます。

これは、若干ニーズが今と昔では変わってきていますので、先ほど野上が述べたように、言い方を変えて修正させていただきたいと思います。

○清水議長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

こちらのアンケートの結果については市民も、全体の細かい結果も含めて見られるような形で公表する予定でしょうか。

○野上主幹

ニーズ調査の結果ですが、冒頭にご説明したとおり報告書という形で最終的には作成いたします。

そちらの報告書等については、図書館、支所、中央公民館などに配置させていただき、また、ホームページなどでも周知のほうはさせていただく予定になっておりますので、一般の市民のかたも目にとめることができるかと思えます。

○清水議長

ありがとうございます。

関委員、お願いいたします。

○関委員

このニーズ調査を見ますと、必須、任意、独自と3種類の調査項目になっていますが、最終的に対象者のところへ調査を出すとき、この文言をつけて出すのですか。この会議のためにこの色分けをして作成した資料と思いますが、対象者のかたに、これは必須です、これは任意ですというと、任意は答えなくてもいいという解釈になってしまうのでその辺をお聞きしたいです。

○清水議長

ありがとうございます。では、事務局お願いいたします。

○小泉主幹

小学生児童の調査のほうにも、新規、変更と表示させていただいていますが、対象者には削除して配布いたします。皆さまにお配りしました資料にはわかりやすいよう色分けしたという形になります。

○関委員

わかりました。ありがとうございます。

○清水議長

皆さまの現場で課題になっていること等が入っているというのがいいと思いますけれども、ご意見ありましたらと思います。

前回のアンケートの回収率というのはどの程度なのか教えてください。

○小泉主幹

前は平成30年度に実施しまして、就学前の対象者が1,969名、うち回答者が862名で回答率は43.8%でした。小学生児童は前回1年生から3年生までですが、対象者が1,247名、うち回答者が565名で回答率は45.3%でした。

今回は、WEB回答も可能になるので、もう少し回答率は上がるかと思えます。

○清水議長

ありがとうございます。

この回答率を上げていくというのは非常に大きな課題であると、アンケート調査の時には常々思いますけれども、できれば、6割以上あたりは回答していただけるようにと思いますが、これを配布するときの回答率を上げるような工夫みたいなものは何かありますか。これ自体も郵送で、ご自宅に送られてくるというような形でしょうか。

○野上主幹

こちらの調査票に関しましては、今回抽出した世帯へ郵送でお送りさせていただきます。

前回の第2期のときのニーズ調査に関しましては、周知とかを特に行わず、前回の会議のときにも回答率の件についてお話があったかと思いますが、今回、市内各保育施設、学童保育所などもありますので、ニーズ調査について周知をし、回答率が上がるように対応したいと考えております。

○清水議長

ぜひお願いしたいと思います。

飯島委員、お願いします。

○飯島委員

このアンケートですが、例えば1年生から6年生の児童を対象に決まっているのであれば、小学生のご家庭あてに実家庭というかたちで配布して期限を決めたほうが、親御さんもアンケートしやすく、回収率も高くなるかと思います。幼稚園とかも、そのような感じで期限を決めて、園ごとにお渡しするというのはどうでしょうか。

○清水議長

配布の仕方を、通っている園や小学校にお任せして、そこで配布していただく形のほうがいいのではということですね。いかがでしょうか。

○古谷課長補佐

アンケート調査なので無記名で回答していただくということになります。園や学校で配ってしまうと、誰のところに配布されたのか、そういったことがわかってしまうために、回答を嫌うかたもいらっしゃると思います。個別で郵送させていただいて、今回工夫しているのは、説明前にもありましたがWEBでも回答できるようにさせていただいたというところで、回答率のほうは向上するのかなと想定しております。

○清水議長

ありがとうございます。市民代表のかたや、当事者で配られてくる家庭のかたもいらっしゃると思いますのでぜひ口コミ等も含めて回答したほうがいいよと、声を届けてほしいとお伝えいただけたらうれしいなと思います。ありがとうございます。

小笠原委員お願いします。

○小笠原委員

アンケートの回収について、アンケートは無記名でWEB回答だとそもそも施設は関与しないので誰が出したかはわかりません。やはり、予防接種の償還のときの勧奨と同じように、施設から一声あるかないかはかなり大きな回収率を上げる要素になるのではないかと思います。ぜひ那珂市のために協力してほしいと、みんなの意見が届くように頑張るねという一言言うだけでも違うと思います。

それに期限があるので期限までによろしくねと、先ほどご意見があったように施設に協力を仰ぐことは悪いことではないと思います。そういう話があればぜひ協力したいと考えております。

○清水議長

ありがとうございます。

では事務局のほう、お願いいたします。

○野上主幹

先ほどその回収率を上げるために何か手だてはあるのかというところで、今回こども課としてニーズ調査を行いますということをご各施設長あて、例えば先ほど言いました民間保育事業者さんや学童保育事業者さんに周知をさせていただいて、保護者の声がかししたら施設をよくする可能性があるなどとお声掛けいただければ、私が思っていることが、いい方向になるという考えになるかと思うので、事業者さんから保護者様にお伝えいただくよう考えていますということでお話しさせていただきました。

○清水議長

そのような形でよろしくお願いいたします。

平野委員お願いします。

○平野（由）委員

前回のアンケートに私も該当して回答しましたが、そのアンケートに答えて回答というのはWEBとかホームページとかで見られると思いますが、回

答したことにより5年間のうちで、この回答の中のところからサービスが、新設されましたよとか、こういったサービスが生まれましたとか、そのアンケートを回答したことにより、この5年間でこういうところが進歩していますという、その実際に市民の子育て真最中の保護者の方々が、あのときに回答したことが、今これにつながっています。だから、回答をお願いします。もっと那珂市をよりよく子育てしやすいまちにするために、今のあなたたちの回答が必要ですよという訴えに、具体的な方向でこういうふうなのが変わってきていますよと、ここに費やさせていただきましたというのがあるだけで、実感は大事だと思うので、そういうアナウンスというのが回答率を上げる一つにもなるかと感じます。

○清水議長

ありがとうございます。

その点について事務局、何かありましたらお願いします。

○野上主幹

こども課のほうで策定しています第2期子ども・子育て支援事業計画の中に、次世代育成支援の取り組み事業という形で、計画の38ページからの子育て施策に関するものを載せております。

実際にこの表記の仕方の部分もあるかもしれないですけども、そういう様々なニーズやご意見をいただいた中で、いろいろな子育てに関することですよとか、そういった事業を取り組んでおりますので、こちらの部分について、前回のニーズのときにご意見が多かった内容を取り入れたとかという文言を追加して、実際に回答した内容がこれで反映されたのだなという形でわかりやすいようにできればいいのかなと思います。

いただいたご意見や、ニーズに関しては、調査研究しまして、事業という形でこちらのほうに盛り込ませていただいておりますので、周知も含めて検討していきたいと思います。

○清水議長

ありがとうございます。

非常に重要なご指摘かと思えます。

はい、平野委員お願いいたします。

○平野（道）委員

就学前児童の14ページの問29のところで、虐待リスクや不登校が云々と書いてありまして最後に、児童育成支援拠点事業の実施が予定されていると書いてありますが、どのような計画で今行われているのか、どのくらい進んでいるのかご説明いただけたらと思います。

○清水議長

いかがでしょうか。児童育成支援拠点事業ですね。

○古谷課長補佐

こちらに関しまして聞き方が悪かったと思います。実施が予定されているというのは、那珂市で実施が予定されているという意味ではなく、国のほう

でこういったものを考慮して、児童育成支援拠点事業を行っていきましようという意味合いなので、現時点でこれが那珂市においてどの程度行っているという意味合いではございません。質問の内容を修正させていただきます。

○清水議長

ありがとうございました。他のかたはいかがでしょうか。

だいぶ意見も活発に出していただきましたので、このあたりで閉めさせていただきます。

それでは、事務局から説明がございました、第3期那珂市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について、こちらのニーズ調査の内容、ご回答いただきました部分も含めて、実施していくということで、異議はございませんでしょうか。

(異議なし)

○水野課長補佐(総括)

清水会長ありがとうございました。

つづきまして、次第4その他でございます。事務局より報告があります。

○寺門課長補佐

(参考資料1について報告)

(参考資料2について報告)

(参考資料3について報告)

○水野課長補佐(総括)

この件につきまして何か質問はございますか。

○清水会長

認可外保育施設の休止についてお伺いしたいです。令和4年に、家庭的保育事業ということで同じ定員の事業所を新たに認可したかと思いますが、そちらの定員は満たしていますか。

○寺門課長補佐

定員は満たしております。

○清水会長

今回休止が出た事業者さんについては、利用児が何か不安なところがあるからとかではなく、純粹に利用児がいないからという理由ですか。

○寺門課長補佐

そうです。最後に園児が在籍していたのは、令和2年度の2歳児が1名ということになっております。それ以降、園児の応募がなかったということになります。

○清水会長

認可外の施設はどのくらいニーズがあるのかと思ひまして、ありがとうございました。

○水野課長補佐(総括)

他に何かご質問ございますか。

ないようですので、以上をもちまして本日の議事は全て終了しました。長

時間にわたる協議大変お疲れさまでした。

委員の皆さまにおかれましては、今後ともご協力ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

なお、次回は令和6年度になります。5月頃に第1回を予定しております。委員の皆さまにおかれましては、今後ともご協力ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

それでは閉会といたします。皆さまお気をつけてお帰りください。

ありがとうございました。